

道路に關することを

池本泰兒



沙漠と沿地との横断道路

茨城縣の霞浦の東側に並んで、北浦と云ふ細長い湖がある。其の東側の湖岸に沿ふて水戸市から銚子町に至る指定府縣道がある。此の邊には鹿島神宮のある處で、日本武尊の東征の頃からの舊い土地でもあるが、又九十九里濱や、鹿島浦の様に大平洋から打ち揚げられる新しい砂濱の相當廣い地域を持つて居る處である。

前述の府縣道は出來るだけ海岸から離れて造られてゐて相當舊い感じを持つてゐる道路であるが夫れでも、廣大な沙漠地帯を横断してゐる箇所がある。延長は四五町もある。自動車の交通に備ふるために、近頃此の部分に千葉縣から粘土を持って来て路面を造つた。厚い砂粘土道を造つたのである。今では固い路盤になつてゐるが、此の沙漠のなかを横断する道路を通つた時には、私はその違つた風景を大變に物珍らしく思つたのである。

今でも風の強い日には、此の道路はすつかり砂の波で埋もれてしまふさうだ。或る風の強い日此處に通りかゝつた乗合自動車は、其の砂に乗り揚げて動けなくなつたので、運轉手は自動車を捨てゝ逃げ歸へつて、風が静まつて其の自動車を探しに行つた處が、すつかり砂のなかに自動車は埋つてしまつて居たさうだ。谷口主事の云ふことだから眞實のことだらう。又次の話もして呉れた。

或る暑い日盲人が此の道路から、其の沙漠のなかに迷ひ込んだ事があつて、其の沙漠地帯を横切ることが出来ず、とう／＼焼け死んだとのことである。日本の國にもこんな處がある。一度は見て置いても損はないだらう。

今年の失業救濟でやつてゐる國道改良工事で新潟縣内のものは、新潟市から秋田に向つて行く國道で、新潟市から新發田に至る區間の一部をやつてゐる。此の邊一帯に信濃川と阿賀川の河口の洲になつてゐる地域を、日本海から吹き寄せる砂丘が海岸の堤防になつた様な低地であるから、田面から三、四米位の深さは、竹でも突き込めば、すぶす

ぶと樂に入る軟泥の箇所が處々にある。田の中に入るにはガンジキ様の底の廣い靴を履かなければ入れないと云ふ。又甚だしく擗かる處は、田にもならないので葭を生やしてある。之等は舟で刈るらしい。

今度の道路は丁度其の様な箇所を横斷することになつてゐる。此の邊の町村道は其の底に達する迄別土砂を入れてある様だが、今度の工事では四、五米の杭を法尻に一米間に隔位に打つて、其の間一面に粗朶の單床を敷いて、其の上に土砂を撒き出して居る。盛土の厚さは七〇種乃至乃至一米である。私が見た頃は盛土は済んで居た。多少の沈下押出しはある様でもあつたが、大きな沈下はなかつた。竣工後夫でおさまるものかどうか見ものであると思ふ。

同じ様な處が福岡縣の遠賀川の下流にもあつた。之れは盛土の高さが十米以上もあつたんだが、土砂を沈むだけ入られた。兩側の土地は結局路面の高さと同じ位盛りあがり、家屋もあつたがそれも倒れてしまつた。其の後も矢張り沈んで路面は波の様になつて居たが、もう落ちついた頃だら

うと思ふ。それまでに三、四年はかゝつた。

先の新潟の国道の盛土に用ひる土砂は、附近の舊い砂丘の海砂である。今は松の木を植えてゐるが切取れば、全くさらさらした砂である。國道工事では二割勾配に高二十米も切つて居るが、其の切り取面の保護に其の邊の灌木を小松や、竹や、樅や、千両の赤い實のなつたのを、無難作に砂のなかに押し込んでゐた。あれで根を降ろすものかどうか、若し着くとすれば植木の生長力は違大なものだ。

工事唄

秋田の失業救濟國道工事は、秋田市内の路線を市街の外に廻わす新線を大部分水田のなかに築造してゐる。丁度一箇所人家集團の中を横断する様になつてゐたが、其此は工事着手前大火に依つて焼けてしまつた。全線切取部はなくして盛土だけであるが、其の土砂は此の工事場近くの雄物川の改修をやつて居るので、其處で大きな堀鑿機で堀つて来るものを機關車で運んで来て夫を用ひて居る。其土捨場から

人力に依つて道路部分に運んでゐるから、失業救濟事業としても有效であり、盛土の單價は其の路線中に都合よく切取土取場がある場合よりも廉い。もう大體土工は済んだ。此の路線が旭川と云ふのを横斷してゐる。鐵筋混擬土打型桁橋五連を架す様になつてゐる。私が行つた時に丁度橋臺及び橋脚の基礎杭を打つて居た。地盤は流動し易い細砂なので、其の締切りにも、杭打にも、とても困難して居られた。締切りとは云ふものの、底のない桶を水中に沈めて其の水を換へ出す程の努力をして居られた。

岩手縣の前澤町と平泉町間の國道工事では、特に土工唄を新作した。殆んど土工のみの工事で一日千二百名以上の人が入つて仕事するのであるから、唄も欲しい。愉快な唄は仕事の能率増進にもなる。今其の二、三を擧げて見る。

草津節の調子にて

一 仕事ないとよ／＼するな

國道工事で氣が勇む

二 勞働手帳で勞働すれば

其の日會計で花が咲く

三 おらも行きたい國道工事

見ても勇ましト一ロ押し

鈴木もんどの調子

一 ア、續く不景氣で地方は瘦せて

瘦せた財布で上納も出來ず

二 ア、前澤起點に平泉まで

延長二里餘の直營工事は

瘦せた財布にや日照の雨よ ハ ヤツコラ ヤレヤレ

三 ア、此處は難所の徳澤山よ

レール五段に敷きめぐらして

漫 錄

一 崩す高さは六十餘尺 ハ 堀れ／＼ ヤツコラ

四 ア、六十餘尺と切取る山は
黄金花咲く寶の山よ

一 振り／＼ 寶が壊れる ハ カツチリ カツチリ

五 ア、金色堂に瀬原の棚や
辨慶往生の高館ほとり

六 ア、崩す一塊盛る一鉢に
名所數ある新國道線 ハ 来タコラ サツサト

一 寒暑厭はず工事に出でて働く土工の勇ましさ

二 よ／＼不景氣に救濟工事、ア、有難い内務省

三 今日も工事の會計日、納金しよか米買はうか

安來節の調子

やがて天下の大道が出来る

崩せヤレ 押せアリヤ國の爲 ハ ヤツコラ ヤレヤレ

一 寒暑厭はず工事に出でて働く土工の勇ましさ

二 よ／＼不景氣に救濟工事、ア、有難い内務省

三 今日も工事の會計日、納金しよか米買はうか

詩 の 心

何日ぞや『ラヂオ』で『日常生活と詩』とか云ふ題の講演を聞いたことがあつたが、其の話のうちに喫茶店に老婆と孫娘とが入つて来て、アイスクリーム一杯を注文した。

それを持つて來た給仕は、其の一杯のアイスクリームに、二本の匙をつけて來たと云ふのである。其の気持ちが詩である。私も其の光景を思ふだけでも美しいと感する。美しい心だ、親切な心だと思ふのである。

私は道路工事をやる人も斯の様な心がなければならないと思ふ。例へば既設道路の鋪装をして、混泥土側溝を造る様な場合、人家側の具合のいゝ様に即ち自分の家の前だつたら、斯くするであらうと云ふ様な心遣で施工する様にしたい。設計にあるからとて、人家側に迷惑になる様なものを無顧着に施工することはいけない。又鋪裝修繕工事をする様な場合、交通の迷惑にならない様にしなければならない。切取土の處分にしても交通にも沿線にも迷惑を少ない様に氣をくばつてゐなければならぬ。又軌道敷の修繕の時でも除いた敷石の置き方に一寸注意するだけで、どの位交通が樂になるかわからない。何か工事をする人は、少しも交通の防害を考へてゐない様にさへ思はれることがある。混泥土鋪装の修繕は養生期間が長いから急硬セメント

を用ひるなどと云ふことは、理論こそ誰れでも言ふことであるが、施工者は工事をすれば交通が我慢するのは當然ぢやないか、と思つて居るかの如くやつて、別に急硬セメントを使用してまでと云ふ様な心遣ひがない様に思ふ。

私は、ほんの少しの心遣ひがあれば、何事でも具合よく行くものだ。多少の機械器具の不備、材料の性質の缺點等があつても、其の心遣ひに依つては、其の不足を補ひ得るものだと思ふ。

人 柱

宮城縣の失業救濟國道工事には三つの橋梁工事がある。

みんな木橋の舊いもので、馬がよく橋板を踏抜いたりする程のものだつた。其のうち高田橋と云ふのがある。吉田川に架せられてゐるものだ。其の河は今は別に荒川の様にも見えないが、橋臺の床堀をしたら、幾らでも古い橋杭の跡が並んで出て來る。相當流心が動いたものであらう。

今度の工事で橋臺の床堀をした處が、下流の方を頭にし

て、上向けに寝た完全な人骨が出て來たさうである。人柱だらうか。或は他の原因に依るものだらうか。

人骨と云へば箱根街道の靜岡縣側の方の改修の時に、並木敷を切り取ると何處からでも澤山の人骨が幾らでも出たさうだ。夫れが淺く簡単に埋められた様になつて居るとか聞いた。これは箱根街道を通る旅人をあの繁げつた松並木の間にひそんで居た追剝が襲ひ、持ちものを奪つて其死骸を埋めて匿くしたものだらうとのことである。未だ並木敷は澤山残つてゐる。其處にも骨は澤山埋つて居ることであらう。こんなことを見ても當時の旅の不安さがしのばれる。

堀り出しもの

之を使用して居た期間は二、三百年以上とも考へられる。

之れも矢張り失業救濟國道工事なのだが大津市と京都市との間に逢坂山を越える部分がある。汽車で云へばあの長い隧道の部分である。其處の峠を今度の工事で切り下げるるのであるが、現在路面から一米も堀り下げた時に、四十貫位の花崗石の石塊が二例にレールの様にすと並べられた

ものが堀り出された。さうして轍跡が深十粁から五粁位ずつと堀れてゐる。其石の間及兩側は砂利及碎石等で固ためられてゐるさうである。之等の石を裏返へすと裏にも轍跡があるから、轍跡が深くなり過ぎると裏むけて再度使用したものであらう。用ひられた車輛の軌間は幾らか聞かなかつたが、其車輪の構造、輪帶の構造も考へて見たいものだと思つて居る。其年代も考へて見る必要がある。私は平安朝より前のものでないかとも思つて居るのであるが根據のないことだから何とも云へない。埋まつたのは法が崩れ落ちて其上を通る様になつたのであらう。こんなことを考へても徳川時代のものではない。轍跡の深さから考へたつて、

せられたと云ふ幅員四間乃至六間の舊道と、其の勾配を避けるために明治十九年とかに改修せられた川沿ひの現國道とがある。夫れを又舊道に沿ふて改修して居るのであるから、此處など前にも書いたが六十尺も切り取ることの様に深い處ではないが、今度の工事でも、刀とか、古錢とかを堀り出して、學校に寄附したとか聞いた。工事の進捗に従つてもつと澤山に掘り出しがあるだらうと、楽しみだ。

失業労働者の特殊技能の適用

埼玉縣熊谷町でやつてゐる失業救濟國道工事場の混擬土工事の仕上はとても美しく出來て居る。溝橋の欄干にしても、U型側溝や其の蓋だの、ちよつと他の土木工事では、見當らない程だ。夫等の費用は普通のものと同じで、少しも増されてゐない。U型溝や其の蓋の曲線と云ひ、縁の面取りと云ひ、表面のつや消の具合と云ひ、ちよつと見ると土木工事には勿體ない様な氣がする程である。だが聞いて見ると、此の工事に使用した失業労働者のなかに、其の様

な事をして居た職工で、普通のことをしてゐても立派な仕上げの出来る人が居たのださうである。其後其の男が來なくなつてからは、同じものを造らうとしても、誰れにも出来ないのでさうである。失業救濟工事だからこそ、こんな面白いことが出来るのである。澤山な色々の職業をして居た人が、之れに集まつて來るのであるから、若し夫れ等の持つて居る特殊の技能を充分に利用することが出來たら、もつと面白い工風があるのでないかと思はれる。

又東京府千葉街道の工事では路側に鐵筋混擬土擁壁が造られてゐる。相當薄いものであるが其表面がとても見事に擣固められて居る。勿論監督者の並ならぬ努力に依らなければ出來ないことゝ思はれるのであるが、監督者は失業救濟なので、相當數の女人夫に暇にあかせて擣固めさせたから、こんなに出來たんですと苦もなげに云つて居られた。何れにしても土木工事を失業救濟事業としてせられるには、失業救濟の特徴を効果あらしめる事は如何に小さい事であつても有効に利用しなければならないものだと思ふ。